

1 取り上げる人権課題「高齢者」

2 取り上げた人権課題の背景と現状

超高齢社会の到来、核家族化の進行により、高齢者にかかわる人権問題が顕在化している。具体的には、心身が弱った高齢者への虐待、介護放棄、不当な財産処分、悪徳商法や詐欺の標的、邪魔者・子ども扱い等の人権問題が起きており、これらは高齢者の尊厳を脅かす大きな社会問題となっている。

こうした問題を受けて、平成7年に「高齢社会対策基本法」、さらに平成18年に「高齢者虐待の防止、高齢者の擁護者に対する支援等に関する法律」等が施行された。しかし、人権侵犯事件は依然増加傾向にある。高齢者への人権問題は、心身の弱った高齢者を邪魔に思ったり劣っていると思ったりするなど、高齢者の立場を考えず、自分のことを優先してしまうことなどが要因で起こると考えられる。そこで、高齢者のおかれている立場を正しく理解し、相手の気持ちを考えて行動する力を養う必要があると考える。

3 児童の実態

本学級の児童の高齢者に対する意識は、生活科でいろいろな遊びを教えてくれたり、一緒に遊んでくれたりする優しい存在であったりする。家庭においても、祖父母に大切にされている児童が多いように感じられる。しかし、祖父母にわがままを言ったり、強い口調でものを言ってしまうなど、祖父母を大切にできていない姿も見られる。それは、高齢者の優しさに甘えていたり、高齢者がこれまで果たしてきた役割を知らなかったりすることが要因であると考えられる。また、高齢者の加齢による心身の衰えに気付いておらず、児童は自分たちと同等に高齢者をとらえている姿も見られる。

【アンケート調査等からみた本学級の実態】

〈分析の観点〉	概ね思う
地域の方に進んであいさつができていますか。	約70%
お年寄りの方に、優しくできていますか。	約80%
お年寄りの方に、自分から声をかけたり助けたりできていますか。	約30%

上記の結果から、本学級の児童は、高齢者の方に優しくしたいという思いがあることが分かる。しかし、高齢者の方に積極的にかかわっていこうとする行動力に弱さが見られる。これは、高齢者の思いを知らなかったり、高齢者の立場を理解していなかったりするため、どのような思いで、どのような方法でかかわったらよいか判断できないことが要因であると捉えている。

そこで、本題材で高齢者に対する自分の態度や思いを見つめ直し、高齢者の立場を正しく理解し、相手の気持ちを考えて、積極的に思いやりある行動ができるようにしたい。

4 指導改善の手立て

- ・事前の疑似体験を基に、お年寄りの立場を共感、理解し、課題意識をもつことができるようにする。
- ・支援ボランティアの方を招き、高齢者が受ける不当な扱いについてお話いただくことで、高齢者の人権問題を現実に起きている問題として捉えることができるようにする。
- ・お年寄りの介助の疑似体験を通して、グループでお年寄りの立場を考えたり、どうしたら相手のためになるか考えたりできるようにする。また、交流の際、介助した相手にどう感じたかを話していただくことで、相手の立場に立つことの大切さを感じることができるようにする。

5 事前・本時・事後の指導構想

〈児童の活動と指導・援助〉	〈児童の意識〉
<p>〈事前〉生活科「ちいきのかたと ふれあおう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活科で地域のお年寄りと交流し、昔の遊びを教えていただく。 ・お年寄りの方が嬉しいことや困っていることを考えて、お年寄りの疑似体験をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のお年寄りの方は、優しいし、昔の遊びが上手ですごいな。物知りだな。 ・お年寄りの方の身体は、僕たちと違ってゆっくりしか動かない時があるんだな。
<p>〈本時〉 学級活動 「ちいきのおとしよりのかたに よろこんでもらおう」</p>	
<p>〈事後〉生活科「ちいきのかたを しょうたいしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りとの交流集会を計画、実行する。 ・交流集会で、本時考えた実践策で、お年寄りを敬う行動ができた姿とその思いを価値付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りの方に喜んでもらえる集会にしよう。 ・お年寄りの方に「どうぞ」と声をかけたら、「ありがとう」と喜んでもらえてよかった。

6 本時の目標

高齢者が感じる困り感や、高齢者に対するひどい扱いについて知り、高齢者に対する自分の態度や思いを見つめ直し、高齢者に対して自分にはどんなことができるのかを考えることを通して、高齢者の気持ちを考えて行動するための実践策をもつことができる。(思考・判断・実践)

7 本時の展開

過程	主な学習活動	見届ける視点(◇)と指導・援助
つ か む 5 分 見 い だ す 15 分	<p>1 前時に高齢者疑似体験をした感想を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひざがうまく曲がらなくて、歩きにくかったです。 ・お年寄りの方が、こんなに体がえらいって知りませんでした。 <p>→・もっと、お年寄りに優しくできるといいな。</p> <p>おとしよりのかたに、よろこんでもらうためにはどうしたらよいだろう。</p> <p>2 お年寄りが受けている心無い行為を知り、どうしてそのような高齢者への人権問題が起こるのかを考える。</p> <p>----- 高齢者ボランティアの方から、体が不自由なお年寄りの中には、邪魔者扱いされ、悲しい思いをしている人がいることを聞く。-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優しいお年寄りがひどい目に遭うなんてひどい。許せない。 ・僕も、お年寄りに優しくできたことはないなあ。 <p>→どうしてお年寄りにこんなひどいことをするのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちと違って、動くのが遅いからだと思います。 ・速く動けなくて邪魔に思ってしまうことがあるからです。 <p>----- ボランティアの方の話から、高齢者への人権問題が起きるのは、高齢者を自分と同じ感覚で捉え、相手の立場に立って考えない気持ちがあるためであることに気付き、自分の考えを振り返る。-----</p> <p style="text-align: center;">【確かにする場】</p> <p>3 お年寄りへの介助の疑似体験を通して、どんな困り感がある方に、どのように接すると喜んでもらえるかを見付ける。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>指先が動かしにくい方に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はい、どうぞと、物を渡してあげると嬉しそう。 ・「どうぞ」って言って渡してくれると嬉しいよ。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>腕が動かしにくい方に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「持ちますよ」って、荷物を持ってあげるといいよ。 ・手伝ってもらえると、嬉しいよ。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>ひざが曲げにくい方に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩くときに、手をつないだら、歩きやすそう。 ・手をつないでもらうと、安心するよ。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>足が重い方に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いすを用意すると、楽だし、嬉しいと思うよ。 ・いすがあると、足が楽で嬉しいよ。 </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りの気持ちになって考えると、喜んでもらえるね。 ・声をかけたり、一緒にやったりすると喜んでもらえるね。 <p style="text-align: center;">【学習成立を見届ける場】</p> <p>4 自分たちで考えた実践策を交流し、支援ボランティアの方に評価をしてもらうことを通して、自分の地域のお年寄りへの接し方を明らかにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕は、お年寄りの方が歩きにくいかもしれないから「どうぞ」と声をかけて一緒に歩いたりいすを用意したりしたいです。声をかけると、うれしい気持ちになってもらえるからです。 ・私は、お年寄りの方は「荷物を持ちましょうか」と聞いてもらえると嬉しいことが分かったので、今度の交流集会の時、優しくしたいです。 	<p>◇事前の体験を基に、お年寄りの立場に共感し、課題意識をもつことができているか。(発言内容・反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実感を交流することで、お年寄りの立場や気持ちに共感し、自分たちにできることはないかという課題意識をもつことができるようにする。 <p>◇お年寄りに対する人権侵害の話聞き、自分の高齢者に対する考えを見つめ直すことができたか。(反応・発言内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者ボランティアの方から直接お話を聞くことで、自分にもかかわりのある問題として捉えられるようにする。
確 か に す る 15 分	<p style="text-align: center;">【人権教育の観点】</p> <p>高齢者の立場を理解し、相手の気持ちを考えて、積極的に行動できる力を育てる。(行動力)</p> <p>＜そのための手立て＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3の活動で、お年寄りの介助の疑似体験を通して、グループでお年寄りの立場を考えたり、どうしたら相手のためになるか考えたりできるようにする。その際、「どうしてそうするといいの？」と問いかけることで、相手の立場に立って行動することを意識できるようにする。 	<p style="text-align: center;">【評価規準】</p> <p>◇お年寄りの立場に立って、嬉しい気持ちになってほしいとの気持ちをもって接することが大切であることに気付き、そのための実践策をもっている。(発言内容・行動・記述内容)</p>
で き る 10 分		

解 説

1. 「高齢者の人権」を取り上げるにあたって

高齢者に対する就職差別、介護施設等における身体的・心理的虐待などが大きな社会問題となっています。疾病（認知症）等のために介護を必要とする高齢者への虐待には、身体的虐待（暴行）・心理的虐待・性的虐待・経済的虐待・ネグレクト（介護・世話の放棄・放任）の5つがあります。介護者の負担や疲れなどが原因で起こる場合も多くありますが、虐待行為は決して許されることではありません。高齢者が差別されたり虐待されたりすることなく、尊厳をもって生き生きと暮らせる社会の構築が課題です。

2. 本実践の指導上のポイント

前半では、事前の高齢者疑似体験を基に、それまでの自分たちがわかっていなかった高齢者の不便さや気持ちを考えます。高齢者の立場や気持ちに共感することで、高齢者を馬鹿にしたり、邪魔にしたりすることが、とてもひどく許されない行為であるという意識をもたせます。

後半では、高齢者の様々な症状で困ることを具体的に想像し、それに対して自分たちができることを考えることで、高齢者に積極的に関わっていこうとする意欲を育てることができます。